



財団法人国際耳鼻咽喉科学振興会へ

首都医科大学附属北京同仁病院 臨床聴覚学センター 黄麗輝

1996年から2002年まで、東京大学医学部に留学し、その間、貴財団から研究助成金を2回頂き、留学生活に大変役に立ち、心より感謝いたします。

2002年3月、東京大学医学部の博士号を取得、4月に帰国し同年9月から2004年8月まで首都医科大学でポストドクターの研究を経て、2004年9月より首都医科大学附属北京同仁病院、北京市耳鼻咽喉科研究所に勤務してきました。

中国では、年に約2千万人の新生児が出生するので、新生児聴覚スクリーニングは重要なことであると思い、帰国後、主要な仕事として北京市0~6歳児童聴覚スクリーニングの管理方法の作成、北京市0~6歳児童聴覚診断センターの評価と設立、中国乳幼児早期聴覚検査及び療育のガイドラインの作成、農村に適応する新生児聴覚スクリーニングのシステムの確立などに、大きい役割を果たしております。全国新生児聴覚スクリーニングの基礎と臨床研究にリーダーシップを発揮できたのは、日本で勉強した知識を大いに生かされたためと思います。これからも、中国全体で新生児聴覚スクリーニングの展開、難聴児の早期療育体制の確立に頑張りたいと思っています。

黄麗輝 助教授

中華医学会耳鼻咽喉 頭頸部学会聴覚学組 副組長

北京市0-6歳児童聴覚保健専門家指導組 副組長

首都医科大学附属北京同仁病院 臨床聴覚学センター 副主任

新生児聴覚スクリーニング室 主任

平成21年3月9日
ニュースレター第9号掲載